



「神戸学院大学 男女共同参画推進宣言」5周年記念フォーラム「男女共同参画のこれまで、そして、これから」を開催します。ぜひご参加ください～12月17日、ハイブリッド～

- ・日時：12月17日（金）13:45～15:15
- ・場所：KPC1 B301 講義室、KAC 951 講義室、Zoom
- ・基調報告：清原桂子 男女共同参画推進室長（現代社会学部教授）

パネルディスカッション

- ・パネリスト：
 - 竹治康公 氏（経済学部教授）
 - 小形晶子 氏（総合リハビリテーション学部助教）
 - 影本由美子 氏（広報部部长）
 - 柚木康史 氏（研究支援グループサポーター）
- ・コーディネーター：清原桂子 室長



第4回「男女共同参画・ジェンダー卒論発表会」へ向けて、発表者を募集～ぜひご応募ください～

男女共同参画・ジェンダーに関連するテーマで卒論に取り組んだ皆さんに、研究成果を発表いただき、応援する場です。最優秀賞1名・優秀賞2名には、学長表彰状と図書カードを贈呈します。「少し関係するかも」、「発表してみようか」という方は、1月18日（火）までに、男女共同参画推進室までご応募ください。また教職員のみなさんも、ぜひ学生の学びの集大成を応援しにおいでください。

日時：2月4日（金）13:45-15:15
場所：KPC1・A号館6階大会議室（オンライン実施に変更する場合があります）

第4回「男女共同参画サイエンスフォーラム」を開催しました～11月8日～

「理科系学問のススメ」と題して、本学の3つの学部から講師が登壇し、理科系学問のワクワクする魅力を伝えました。KPC1およびZOOMのハイブリッドで開催し、附属高校生など約60人が参加しました。

栄養学部講師の鳴海愛子先生は、食行動に影響している外的要因、内的要因を説明し、栄養学の広がりをお伝えしました。続いて、総合リハビリテーション学部教授の大庭潤平先生は、「作業療法は、その人が自分らしく生きるための、こことからだのリハビリテーション」と学生たちに話しました。最後に、薬学部教授の中川公恵先生は、知識と進路の幅の広さが薬学の特徴であると伝えました。

ディスカッションでは、「高校時代には何を勉強していたらよいか」という質問に対する、「研究には答えがないので、探究心を持つこと」「世の中に対する観察眼が、人に寄り添う技術や知恵を育む」など、先生たちからエールが送られました。



伊藤公雄・京都産業大学教授を迎えて、管理職・役職者対象講演会「なぜ、今、大学でダイバーシティなのか～男性主導社会の黄昏を前に」を開催～11月4日～

ハイブリッド形式で、約70人が参加しました。男性学のがわが国第一人者である伊藤先生からは、ダイバーシティが組織を活性化し、創造性を拡大すること、なかでもジェンダーに注目することの重要性について、各種指標を用いて解説。日本が1970年代以降の家族と労働をめぐる国際的変化に1990年代に対応すべきであったができなかったこと、現在の「メンズ・クライシス」を直視し、男性のケアする力、ケアを受け入れる力を構築することの大切さ、そのための大学の役割について強調されました。

質疑では、「逆差別という指摘への対応は」「権力志向に気づくレッスンとは」などについて活発な意見交換が行われました。



神戸市受託事業：オンライン市民公開講座「男女の活躍と働き方改革セミナー」を開催しました～10月22日～

「こうべ男女いきいき事業所」の表彰企業である伊福精密（株）の伊福さんは、女性の雇用の促進など働き方改革の成果が、生産率の向上、残業の減少、雇用の定着として現れてきていると自社の取り組みを紹介。続いて日本ビジネスデータプロセッシングセンターの弘原海さんは、全従業員参加の「働き方改革キャンペーン」を紹介しました。

参加した学生からも「女性の定着率について」「改革実行のためのポイント」などの質問があり、オンデマンドで約300人が視聴しました。



日曜・祝日等出勤時一時保育をご利用ください

1歳児～小学校3年生までのお子さんを対象に、入試などによる当該キャンパスでの日曜・祝日等出勤時に、両キャンパス内において、一時保育を行っています。利用料は4時間未満2,000円からで、きょうだいの場合2人目以降の料金が半額となる割引制度もあります。詳細は、大学トップページ男女共同参画推進室HPへ。



神戸学院大学 男女共同参画推進室
 住所 神戸市中央区港島1丁目1番地3
 電話 078-974-1551（代表）内線 84453
 078-571-0927（直通）
 メール danjokyodo@j.kobegakuin.ac.jp

